

(案)

令和2年6月4日

江別市長 三好 昇 様

江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会  
委員長 西澤 寛俊

江別市立病院の役割とあり方を検討する委員会 答申に関する意見書

第2次答申を行うにあたり、委員会として、集中改革期間における経営再建の確実な達成に向け、第1次答申及び第2次答申全体を通しての意見を、下記のとおり添えますので、配慮願います。

#### 記

- 1 「自律」「連携」「柔軟」「迅速」を基本理念とし、「ロードマップ」に基づく取組を着実に進め、集中改革期間内における収支均衡を確実に達成されたい。  
そのためには、先ずは地方公営企業法の全部適用に向けた取組を進め、新たに設置される事業管理者の下、ガバナンスの強化に向けた人事制度のあり方等について、早急に検討していく必要がある。
- 2 本委員会が指向すべきと結論付けた地方独立行政法人への移行については、集中改革期間内における上記の取組が確実に遂行されることが、その前提条件となる。
- 3 経営再建の確実な進捗を図るため、外部委員会を速やかに設置すること。なお、外部委員会の設置にあたっては、点検・評価の実効性が確保されるよう、委員構成等に留意されたい。

以上